

会計
事務所の
皆さまへ

MJS情報誌



＼ お得で役立つ情報をお届け ／

MJS Vol. 10

INFORMATION

現場の課題を解決！

記帳代行から年末調整まで

業務改善のススメ

大繁忙期を乗り切る！

特集1 (P1・2)

会計事務所の働き方を変える、記帳業務の運用のご提案

特集2 (P5・6)

AI-OCR入力で大繁忙期を乗り切る！

＼新登場／ACELINK NX-Pro給与計算・年末調整AI-OCR入力

- 記帳業務の効率化を加速させる、経費精算のデジタル化
- AI-OCR入力で圧迫するデータ容量の問題は、証憑クラウドストレージで解決！
- 注目Webセミナーのご紹介
- 経営ひそひそ話 決算対策を資産運用と合体させる手法

特集 1

会計事務所の働き方を変える、 入力しない記帳代行

「記帳代行の限界」― 紙と人手に頼る業務の課題



会計事務所の現場では、日々膨大な数の証憑が扱われています。領収書、請求書、通帳コピー…それらを紙で預かり、職員が一枚一枚手入力して仕訳を作成する。そんな業務が、今も多くの事務所で日常的に行われています。しかし、制度改正や顧問先の業務変化により、記帳代行の負担は年々増加しています。インボイス制度や電子帳簿保存法の対応に追われる中、職員の確保も難しくなり、従来のやり方では限界を感じる場面も少なくありません。特に繁忙期には、証憑の回収・返却・入力・確認といった一連の作業が重なり、業務の遅延やミスリスクも高まります。このような状況下で、業務の質を保ちつつ、効率化を図るためには、従来の「紙と人手」に頼るスタイルからの脱却が求められています。

「入力」から「確認」へ― 業務の質を高める変化

今、注目されているのが「証憑のデジタル化」と「記帳業務の自動化」です。

紙の証憑をスキャンし、画像から文字情報を読み取って仕訳を作成するAI-OCR技術は、ここ数年で急速に普及し、すでに多くの会計事務所や企業で活用されています。

当社では、月間64万件以上の証憑がAI-OCRにより解析されており（2025年2月時点）実務に根ざした技術として定着しつつあります。

これまで人が行っていた入力作業を機械が代替することで、職員は確認や修正といった“人にしかできない”業務に集中できるようになります。記帳業務は「人が入力する」から「人が確認する」へと変化し、業務の質と効率の両立が可能になります。仕訳辞書の活用や複数証憑の一括処理など、実務に即した機能も充実しており、業務のスピードと正確性を高めることができます。また、証憑の扱い方に応じて最適な運用方法を選択できる柔軟性も魅力です。例えば、紙の証憑をまとめて預かる場合は、事務所内で高速スキャンを行うことで、大量の証憑も短時間でデータ化できます。訪問先で証憑を回収する場合は、持ち運び可能な小型スキャナーを使えばその場でスキャンを完了でき、紙の預かりや返却の手間を省くことができます。

紙でまとめて預かるなら
業務用スキャナー



訪問してスキャンできるなら
モバイルスキャナー

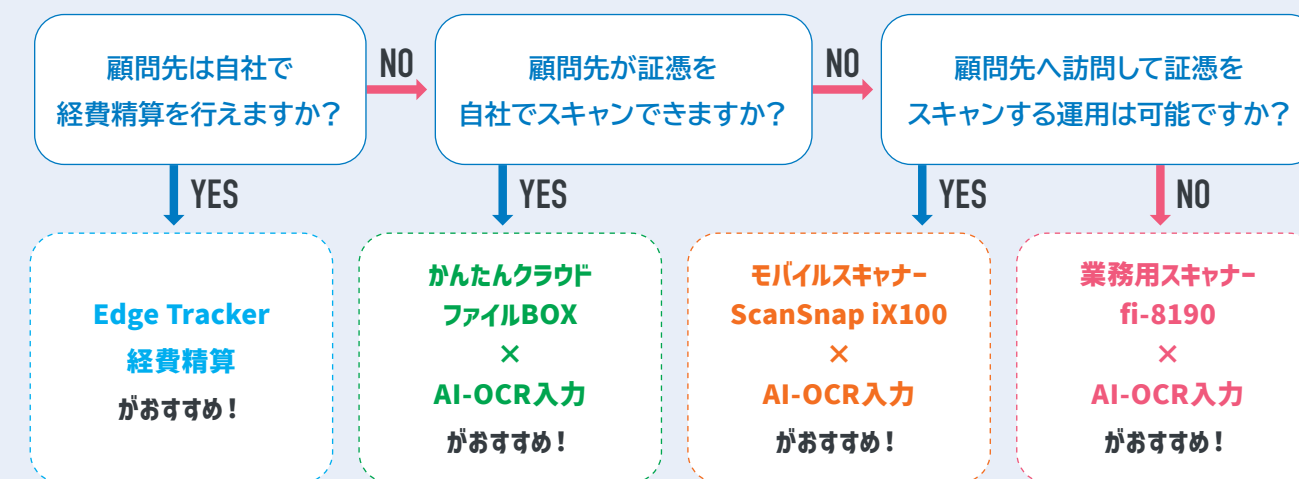


さらに、顧問先が自社で経費精算を行っている場合は、申請から承認、仕訳連携までを一気通貫で行える仕組みを導入することで、事務所側の記帳業務を減らしつつ、顧問先の業務効率化にも貢献できます。記帳代行は、会計事務所の重要な業務のひとつです。しかし、これからの時代は「紙を預かって入力する」から「データを活用して支援する」へと、役割が変わっていくのかもしれません。業務の質を高め、職員の負担を減らし、顧問先との信頼関係を築く―その第一歩として、記帳業務のデジタル化を検討してみてもいいかもしれません。



記帳代行の運用、最適な方法は？

顧問先の状況から選べるフローチャート



Edge Tracker
経費精算

- 顧問先はスマホやPCで簡単申請
経費精算をデジタル化し、仕訳データを連携！
記帳代行業務の負担&顧問先の業務効率化に貢献！

P7へ

かんたんクラウド
ファイルBOX
×
AI-OCR入力

- 証憑を顧問先がスキャン&アップロード
- 会計事務所はファイルBOXから直接AI-OCR入力で仕訳化
証憑の回収・返却不要、業務効率化！

P3へ

モバイルスキャナー
ScanSnap iX100
×
AI-OCR入力

- 訪問先でモバイルスキャナーを活用
- 紙の預かり不要、現場でスキャン完了
- 軽量・省スペースで持ち運びもラクラク

P4へ

業務用スキャナー
fi-8190
×
AI-OCR入力

- 事務所内の業務用スキャナーで高速スキャン
- 大量証憑も毎分90枚／180面で一括処理
- 厚みのある通帳も読み取り可能！両面読み可能！

P4へ

AI-OCR入力で実現する、記帳業務のデジタル化パターン別運用のご提案

※「Edge Tracker」「かんたんクラウド」「かんたんクラウドファイルBOX」は、株式会社ミロク情報サービスの商標または登録商標です。
※その他記載されている製品名・会社名は、各社の商標または登録商標です。

AI-OCR入力を実現する、記帳業務のデジタル化

AI-OCR入力とは、スキャンしたレシートや通帳、クレジットカード利用明細を取り込み、OCR解析して仕訳を自動作成する、ACELINK NX-Proのシステム

① 証憑をスキャンして
画像データを取り込み

② 解析し、自動仕訳

③ 仕訳を補完・訂正し、
仕訳取込

レシート
通帳
領収書

1/1
全選択
全解除

証憑を読み取り、仕訳辞書が適用できなかった読取データを前年・当年仕訳からAI類推機能により仕訳をセットします



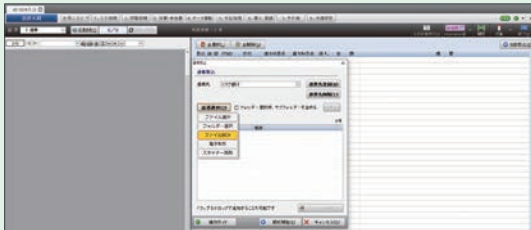
パターン別AI-OCR入力運用ご紹介！

1 証憑の回収・返却が不要に！ かんたんクラウドファイルBOX × AI-OCR入力

① 顧問先が証憑データをファイルBOXに保存



② 会計事務所がAI-OCR入力で画像データを取り込み



▲ AI-OCR入力証憑選択画面

③ 解析し、自動仕訳／④ 仕訳を補完・訂正し、仕訳取り込み



▲ AI-OCR入力通帳読み取りの場合



「紙」で預かると…このような手間が発生…

回収

訪問 or 郵送

返却

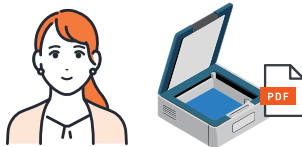
ファイリングして訪問返却 or 郵送

2

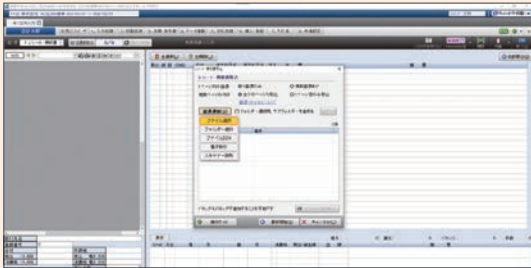
その場でスキャン！証憑を預からないので返却が不要に！

モバイルスキャナ-ScanSnap iX100 × AI-OCR入力

① 顧問先で証憑をスキャンしデータ化



② 事務所に戻ってAI-OCR入力で画像データを取り込み



③ 解析し、自動仕訳／④ 仕訳を補完・訂正し、仕訳取り込み

RICOH 「ScanSnap iX100」

RICOH「ScanSnap iX100」
標準価格：24,000円（税抜）



顧問先（外出先）でも使える！本格的な
モバイルスキャナ-「ScanSnap iX100」の魅力をチェック！

コンパクトながら高性能な「ScanSnap iX100」
4つの特徴をご紹介します！

コンパクト・軽量で
持ち運びに最適

自動サイズ検出・向き補正・白紙削除に対応
読み取り後の画像処理も自動で快適

名刺・領収書など
小型原稿に強い

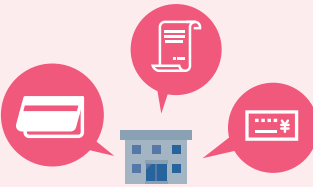
バッテリー内蔵・Wi-Fi接続対応
電源不要でPC・スマホ・タブレットと連携可能

3

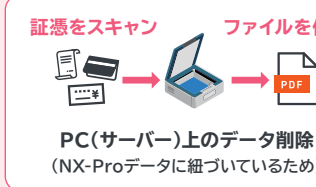
事務所内で高速スキャン！

業務用スキャナ-fi-8190 × AI-OCR入力

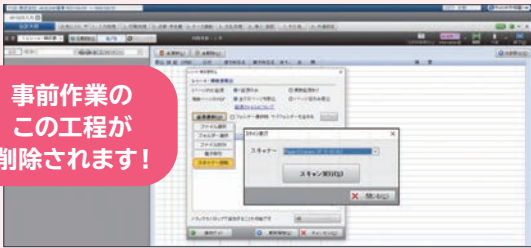
① 顧問先から証憑を回収



② 証憑をfi-8190でスキャン&AI-OCR入力で取り込み



事前作業の
この工程が
削除されます！



▲ AI-OCR入力の画面上でスキャナーを起動

③ 解析し、自動仕訳／④ 仕訳を補完・訂正し、仕訳取り込み

RICOH 「fi-8190」

RICOH「fi-8190」
標準価格：210,000円（税抜）



記帳業務に最適！本格的な
業務用スキャナ-「fi-8190」の魅力をチェック！

スピード・精度・対応力を兼ね備えた「fi-8190」の
4つの特徴をご紹介します！

高速・大量スキャンに対応
両面同時読み取りで業務効率を大幅に向上

自動サイズ検出・向き補正・白紙削除に対応
読み取り後の画像処理も自動で快適

幅広い原稿サイズに対応
通帳からA3サイズまで柔軟にスキャン可能

安定した紙送り性能
多枚数でもスムーズに読み取り、紙詰まりを防止

顧問先の経費精算をデジタル化、記帳業務の効率化がさらに加速！

※「Edge Tracker」「かんたんクラウド」「かんたんクラウドファイルBOX」「ACELINK NX-Pro」は、株式会社ミロク情報サービスの商標または登録商標です。
※「Adobe PDF」は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
※その他記載されている製品名・会社名は、各社の商標または登録商標です。

特集 2

AI-OCR入力で大繁忙期を乗り切る！ NX-^{ACELINK} Pro 給与計算・年末調整AI-OCR入力

新登場！

年末調整・確定申告の繁忙期、書類の確認やシステムへの手入力は大変ですよね。人の手による入力ミスや計算ミスも心配です。そんな時こそ、AI-OCR入力の活用がおすすめです。書類のデータ化を自動化することで、業務の手間を大幅に削減できるだけでなく、ヒューマンエラーの防止にもつながります。

NEW

給与計算・年末調整 AI-OCR入力



証憑を読み取り、証憑の種類を自動判定し、AI-OCR入力明細画面に転記します。転記した内容を保管・確認して、各入力処理（申告書データ入力・給与賞与データ入力・年調データ入力）へ連携することができます。

①証憑スキャン → ②明細自動転記 → ③明細補完・訂正 → ④明細取込 → ⑤申請書入力

証憑
スキャン

■読み取り証憑

- ・生命保険料控除証明書
- ・地震保険料控除証明書
- ・給与所得の源泉徴収票
- ・賃金台帳



取り込んだ情報はそのまま給与・賞与データへ連携！
入力処理の画面でも証憑の確認が可能です

証憑の保管場所は
変更が可能です

AI-OCR入力で保存される証憑画像のデータがサーバーのデータ容量を圧迫しないか心配…
ご安心ください！証憑画像の保管場所は自由に変更することができます。

スキャナースキャン後 フォルダ内のファイル

スキャン後の読取元の証憑画像ファイルは、AI-OCR入力に取り込んだ後も残ったままとなります。

読取元の証憑画像
ファイルとは別に、
証憑画像データを
保存

AI-OCR入力での 「給与・賞与データ入力」 「申告書データ入力」に取り込み

証憑画像データは、AI-OCRで取り込んだ申告書データとひと付けられ、「証憑保管場所変更」で選択した保管場所に保存されます。クラウドストレージまたは共有フォルダの場合は年末調整データとは別ファイルに、会社データの場合は年末調整データと同じデータベース内に保存されます。

証憑画像データの
保管場所の選択が可能

- 給与計算
年末調整
データ
- クラウドストレージ
(オプション)
- 共有フォルダ
- 会社データ

クラウド上での証憑保管について、詳しくはP.8へ！

所得税確定申告 AI-OCR入力



医療費の領収書や生命保険料控除証明書から内容を読み取り、AI-OCR入力明細画面に転記します。転記した内容を保管・確認して、各入力処理（申告書データ入力・給与賞与データ入力・年調データ入力）へ連携することができます。

証憑
スキャン

■読み取り証憑

- ・生命保険料控除証明書
- ・地震保険料控除証明書
- ・給与所得の源泉徴収票
- ・医療費・医薬品等の領収書
- ・寄付金控除受領証明書
- ・公的年金等の源泉徴収票
- ・特定口座間取引報告書



取り込んだ情報はそのまま給与・賞与データへ連携します。入力処理の画面でも証憑の確認が可能です

AI-OCR入力に「満足」との声多数

多くの会計事務所様に効果を実感いただいています
お客様からいただいた声の中から一部をご紹介します！

A事務所

申告書の作成ができない職員でも、証明書のスキャンからOCRの読み取り、確認までお願いできるので、業務の分担や効率化につながりました！



B事務所

昨年の証憑がない場合、金額が異なる場合に、その都度昨年の資料を紙で探さなくてもよくなる点が助かると感じました。



C事務所

ふるさと納税や医療費の集計や手入力の負担が大きかったですが、AI-OCR入力を導入したことにより、入力業務を軽減でき大変助かります。



使い方に困ったらAI-OCR information!

TVSサイト右側のピンク色のボタン「AI-OCR information」から、AI-OCR入力の操作説明動画やシステム対応予定、よくあるお問い合わせなどをご覧いただけます。



ACELINK NX-Pro会計大將のメニューからも『AI-OCR information』へのアクセスが可能です。メニューボタンのミロにゃんが目印です♪



ACELINK NX-Pro AI-OCR入力について
資料請求・お問い合わせはこちら



<https://x.gd/k3m1X>



記帳業務の効率化を加速させる、経費精算のデジタル化

※「ACELINK NX-Pro」「TVS」「会計大將」は、株式会社ミロク情報サービスの商標または登録商標です。

顧問先の経費精算デジタル化で 記帳業務の効率化がさらに加速！



Edge Tracker 経費精算なら、顧問先の従業員や社長が使った経費を領収書を預かることなく、会計事務所に仕訳データと領収書の証憑データを連携することができます。

Edge Tracker 経費精算には こんな導入メリット



- 簿記を知らない顧問先の従業員でも簡単に経費精算が可能！
- 電子で受け取った領収書はスクリーンショットや画像データから、紙でもらったものは写真撮影から取り込みが可能！
- 交通費は経路から料金を自動計算できる！
- 承認・差し戻し・否認による承認機能で申請承認が円滑に！
- 金額や購入物による承認ルート設定が可能！
- 承認データはACELINK NX-Proへ仕訳連携！

Edge Tracker 経費精算の運用イメージ



動画で簡単解説！
YouTube 動画公開中
動画リンクはこちら



<https://x.gd/wrNpu>



今なら3か月間無料！
お申し込みはこちら



<https://x.gd/sX8wT>

リニューアル

AI-OCR入力で取り込むデータによる容量の圧迫が不安？

証憑クラウドストレージサービスで解決 できます！

会計大将・所得税確定申告・給与計算・年末調整の4つに新たに対応しました！



「証憑クラウドストレージ」オプションを導入すると、システム内にある「証憑ファイルの保管場所」区分で「クラウドストレージ」を選択することができます。仕訳に紐づいている証憑画像のみがクラウドストレージ上保存されます。

AI-OCR入力でたくさん証憑を取り込んでも
証憑クラウドストレージに保存すれば、
会社データの容量は圧迫されません！

(例)会計の場合 会社・仕訳ごとに
ユニークIDを付与して連携

6月4日交際費/現金9,680

6月14日書籍代/現金1,430



容量制限なく
クラウドストレージへ保存可能！

大事なデータ！BCP対策もあわせて行いましょう！

会計・税務・給与・年調データは

MJSセキュア
ストレージサービス™
でバックアップ

証憑データは

証憑クラウドストレージ
サービス
へ保存

あわせて使うことで会計・税務・給与・年調データ、
証憑データを安全に保存します

お問い合わせ・資料請求はこちら



<https://x.gd/l8V0g>



注目Webセミナーのご紹介

※「ACELINK NX-Pro」「Edge Tracker」「MJSセキュアストレージサービス」「会計大将」は、株式会社ミロク情報サービスの商標または登録商標です。

注目Webセミナーのご紹介

MJSが毎月開催するWebセミナーの中でおすすめの内容をご紹介します

【会計事務所様向け】顧問先への付加価値サービス 「会計大将 経営分析」システムご紹介セミナー

開催日 **2025年11月19日(水)**
10:00~11:00

対象 会計事務所様向け

受講料 無料

定員 30名

会計大将のオプション機能として「経営分析」システムを用意しています。他社比較や移動年計グラフなど顧問先へ付加価値を提供する分析帳票の活用方法についてご紹介します。また、経済産業省が公表しているローカルベンチマーク※ツールに会計大将データを取り込み、財務分析シートを出力する機能についてもご紹介します。

申し込みはこちら



<https://x.gd/uuFUG>

※ローカルベンチマークとは、自社の経営状況を同業他社と比較・分析する手法です。特に中小企業が、自社の強みや課題を把握、経営改善に活かすために使われます。

【会計事務所様向け】印刷・封入・郵送の手間を削減！ 会計事務所のための請求業務電子化セミナー

開催日 **2025年11月19日(水)**
14:00~15:00

対象 会計事務所様向け

受講料 無料

定員 30名

印刷や封入、郵送といった作業に時間やコストがかかっていませんか？紙ベースの請求業務には、非効率なプロセスが多く潜んでいます。本セミナーでは、会計事務所の請求業務を効率化するためのソリューションとして、「Edge Tracker 電子請求書」「ACELINK NX-Pro 報酬請求管理」の2つの製品をご紹介します。業務のスマート化を目指す皆様に、実践的なヒントをお届けします。

申し込みはこちら



<https://x.gd/3deon>

ACELINK NX-Pro
から直接起動
できるようになりました！



困ったときに寄り添うMJSの新サービス

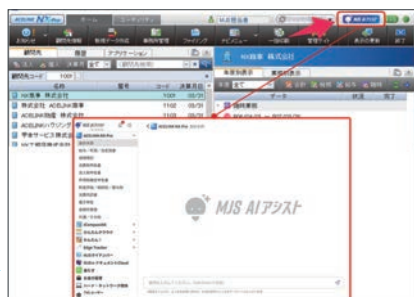


MJS AIアシストとは？

製品の操作についてのお困りごとをチャット形式で質問するとAIが解決方法をすぐに答えてくれます。「MJS AIアシスト」では、ログインした担当者ごとに質問履歴が保存されるため過去の質問内容をいつでも確認できます。



ACELINK NX-Proのメニュー右上のボタンから「MJS AIアシスト」にアクセスいただけます！



詳しくはこちら



<https://x.gd/lx665>

※「ACELINK NX-Pro」「会計大将」「MJS AIアシスト」「Edge Tracker」は、株式会社ミロク情報サービスの商標または登録商標です。

経営ひそひそ話



日々の業務の中でふと感じる「これって、他ではどうしてるの？」という疑問に、ちょっとしたヒントや新しい視点をお届けするコラムです。今回のお話は…

決算対策を資産運用と合体させる手法②

前回にひきつづいて決算対策のプランについてご紹介していきます。今回は「中小企業経営強化税制」を活用して、当年度に導入した設備投資を減価償却として扱わず、一括経費計上することができる案をご紹介します。新しい設備を導入していない企業ではどうすればよいのか？についてのプランを順次ご紹介していきます。

■ 外貨両替機の導入

近年オーバーツーリズムが社会課題で取り上げられるほど外国人観光客が増えています。彼らは支払いをクレジットカードで行っていると思われていますが、日本よりも治安に問題があるほとんどの国から来訪される方々は、知らない国でクレジットカードを頻繁に使用する際のスキミング犯罪リスクなどが気になって、現金決済をするケースが一定数あるのです。しかし外貨両替カウンターは空港や特定のホテルなど、あまり数がなく利便性が低い状態でした。そこで外貨両替機が脚光を浴びています。省スペースで設置でき、多言語対応、多種通貨対応ができるもので、人件費が不要です。電鉄の駅やショッピングモール、コンビニエンスストアに設置されてきています。この外貨両替機をあなたの会社で取得します。1台400万円弱です。毎月のレンタル料が振り込まれ、5年契約終了時にメーカーが機械の中古買取をしてくれます。合計で年間利回り20%のキャッシュフローを得ることができます。

機械の償却は「中小企業経営強化税制」を使って一括償却で経費計上します。外貨両替機を導入しても「設置場所」を開ける必要はなく「設置先を探す」必要もありません。大手が順次導入してくため、そこに乗っけてもらうだけで手間がありません。外貨の補充は運営会社が両替機を回って補充と回収をしてくれます。あなたの会社は月次のレンタル料を受け取るだけです。株主は大手電鉄や銀行なので運営会社、メーカーが消滅して回収できなくなるリスクはありません。



■ 決算対策の課題と様々なプラン

決算対策には「新たに経費を作る」＝「実際にお金が出ていく」ということが資金繰り上、頭痛の種になる会社が多いです。つまり決算対策で出て行った金額を回収できるスキームでなければ対策の有効感が不十分になるということです。1例としての外貨両替機のように、短期的に投資回収をして利回りが出るプランが各社から色々出されており、各プランは活況を呈しています。企業防衛に敏感な企業が多いことがわかります。今回のプランの課題は「中小企業経営強化税制」を使う事です。「中小企業経営強化税制」の申請と承認を得るにはそれなりに手数がかかります。主に外注を使われ、一括償却を用いない企業もあります。今後は順次、「中小企業経営強化税制」を必要とせずに一括償却と経費計上ができるもので、投資金額の柔軟性があり利回りを得ることができるプランをご紹介していきたいと考えています。



■ 即時一括償却の税制を活用する

通常業務で設備の入れ替えや新規導入を行う企業の場合、通常では税法上の耐用年数に分割して経費計上となります。しかし「中小企業経営強化税制」を活用することで、設備導入した年度に全額経費計上もしくは税額控除を認められることとなります。この方策の場合によっては十分な決算対策となります。これは顧問会計事務所に問い合わせただけに対応いただけると思います。通常の複数年に渡る分割計上の減価償却が即時一括償却（＝経費計上と実質同様）の取り扱いに変わります。設備投資を行っている企業では、最もシンプルな法人税対策になるはずです。もちろんこれは新たに支払いが必要になる対策ではないので運用フェーズは存在しません。

【寄稿】小林 一（税経システム研究所客員研究員）

サイバー攻撃・災害対策のポイントは「バックアップ」 BCP対策もMJSがサポートします。

大容量データに対応したオールインワンのデータ保全アプライアンス

MJS
バックアップ **ONE**™

エムジェイエス バックアップワン



実効容量1TB～8TBに対応でき、大容量のデータを安全・確実に守る／

本体



バックアップやバージョン管理に優れた共有型保存装置で、データ保護に役立ちます。

+

バックアップ用HDD

クラウド



5年保証

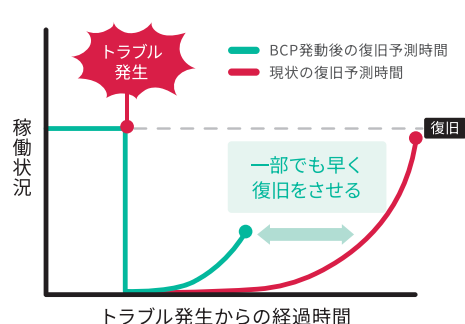
5年間安心してご利用いただけます。

MJS
バックアップ **ONE**™
3つの特長

- ✓ クラウド×NAS×HDD、すべてがそろった「おまかせ保全」
- ✓ 5年分のデータをこれ1台で安心保管
- ✓ MJSが事前設定するので、簡単に設置・導入が可能。MJSが強力にサポート

&

「MJSセキュアストレージサービス」との併用で、有事に備えてさらなる安心を!!



「MJS バックアップ ONE」では、OSや設定などを含めた大容量のデータをバックアップするため、それらのデータを戻すのに比較的時間を要します。直近のデータはファイル単位でバックアップができる「MJSセキュアストレージサービス」を併用することで、有事の際にも速やかにデータを戻すことができます。

※「MJS バックアップ ONE」は株式会社ミロク情報サービスの商標または登録商標です。 ※その他記載されている製品名・会社名は各社の商標または登録商標です。

各商品・サービスの資料をご希望の場合は右記の
二次元バーコードよりお問い合わせください。



<https://x.gd/Gvmj4>

●商品については、担当支社へお問い合わせください。

発信元 **株式会社ミロク情報サービス**
営業本部 マーケティング・営業推進部

東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル48F
TEL: 03-5326-0381 FAX: 03-3343-5789